

株主メモ

事業年度	4月1日から翌年の3月31日まで	株主名簿管理人	東京都千代田区丸の内一丁目4番5号 三菱UFJ信託銀行株式会社
定時株主総会	6月	同 連 絡 先	東京都府中市日鋼町 1-1 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 電話 0120-232-711（通話料無料） （郵送先）〒137-8081 新東京郵便局私書箱第29号 三菱UFJ信託銀行 証券代行部
基準日	定時株主総会・・・3月31日 期末配当・・・・・・3月31日 中間配当・・・・・・9月30日	特 別 口 座 の 口 座 管 理 機 関	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社
公 告 方 法	電子公告 ただし、事故その他やむを得ない事由により電子公告による公告ができない場合は、日本経済新聞に掲載いたします。 [公告掲載ウェブサイトアドレス] http://www.seiko-co.com/	同 連 絡 先	〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部 電話 0120-782-031（通話料無料）
単 元 株 式 数	100株		

- **住所変更、単元未満株式の買取・買増等のお申し出先について**
株主さまの口座のある証券会社にお申し出ください。なお、証券会社に口座がないため特別口座が開設されました株主さまは、特別口座の口座管理機関である三井住友信託銀行にお申し出ください。
- **未払配当金の支払いについて**
株主名簿管理人である三菱UFJ信託銀行にお申し出ください。
- **「配当金計算書」について**
配当金支払いの際に送付している「配当金計算書」は、租税特別措置法の規定に基づく「支払通知書」を兼ねております。確定申告を行う際は、その添付資料としてご使用いただくことができます。



証券コード：6286

第117期
株主通信

2018年4月1日 ▶ 2019年3月31日



あなたのそばに 静甲グループ

毎日の暮らしからものづくりの現場まで、あなたとつながる静甲です



INDEX

静甲グループの事業領域	02
ごあいさつ	03
財務ハイライト	04
事業別の概況	05

連結財務諸表	07
トピックス	09
会社概要／株式の状況	10

静甲グループの事業領域

Business Area

産業機械事業

包装機械等の製造販売、修理・改造



電機機器事業

FA機器・空調機器・冷凍機器等電機機器の販売及び空調設備設置工事



不動産等賃貸事業

駐車場経営及び貸自動車事業等

冷間鍛造事業

冷間鍛造製品の製造販売



車両関係事業

車両及びその関連商品の販売



60th Anniversary
SEIKO CORPORATION

グループ会社

- 日本機械商事株式会社（東日本／西日本）（連結子会社）
包装機械の販売
- 株式会社エコノス・ジャパン（連結子会社）
殺菌装置、食品加工機械等の製造販売
- 静岡バイオート株式会社（連結子会社）
ボルボ車の販売・修理
- 株式会社PUREST（連結子会社）
ポルシェ車の販売・修理
- 静岡スバル自動車株式会社（連結子会社）
スバル車の販売・修理
- 静岡自動車株式会社（連結子会社）
車両レンタル・リース業、ガレージ業
- 株式会社ビルメンテ
- エススタッフサービス株式会社

株主の皆さまには平素より格別のご高配を賜りありがたく厚くお礼申し上げます。
さて、当社第117期（2018年4月1日から2019年3月31日まで）の株主通信をお届けするにあたり、ごあいさつ申し上げます。

当期の業績について

当連結会計年度におけるわが国の経済は、企業収益や雇用環境の改善が続き、設備投資も増加するなど緩やかな回復基調で推移しましたが、米国の通商政策に対する懸念や中国の景気減速など、景気の下振れリスクに注意が必要な状況であります。

このような経済環境のなか、当社グループにおきましては、「顧客対応力の充実を図る」を方針として掲げ、「人づくり」「仕組みづくり」「ものづくり」を重点課題として定め、各事業において施策を推進しております。

当連結会計年度の当社グループの売上高は、産業機械事業、電機機器事業は堅調に推移し、前年同期の実績を上回りました。一方、車両関係事業では新車販売台数の減少により、前年同期の実績を下回りました。また、冷間鍛造事業も主力の自動車部品の一部生産終了などにより前年同期の実績を下回りました。

これらの結果、売上高は、前年同期比1.6％増の334億3千9百万円となりました。利益面では、車両関係事業が前年同期の実績を下回ったことを主要因として、経常利益は前年同期比27.8％減の6億2千4百万円、親会社株主に帰属する当期純利益は前年同期比61.2％減の3億8千万円となりました。

なお、前年同期には、投資有価証券売却益1億9千2百万円、日本機械商事株式会社（本社：大阪府大阪市中央区）の連結子会社化に伴う段階取得に係る差益8千万円及び負ののれん発生益8千9百万円を特別利益に計上しております。

当期の期末配当金につきましては、1株につき8円として、先に実施いたしました中間配当金と合計した年間の支払配当金は1株につき16円とさせていただきます。

来期の見通しについて

当社グループにおきましては、産業機械事業では、設備投資需要が鈍化する中、受注確保に努めますが、大型機の引き合いが少ないことから、当連結会計年度を下回る見込みであります。

電機機器事業では、空調機器で空調機器用部材が引き続き好調に推移すること、F A 関連機器、冷熱機器、設備機器で当連結会計年度並みの堅調を維持することにより、全体としてほぼ当連結会計年度並みの見込みであります。

冷間鍛造事業では、自動車部品は一部製品の減産を新規製品の量産開始等によりカバーし、電動工具部品は引き続き主要納入先向け製品の増産が期待されるほか、事務機・産業機械部品も堅調な推移が見込まれ、当連結会計年度を上回る見込みであります。

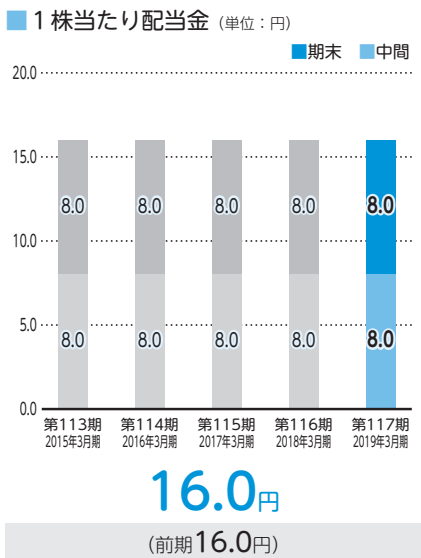
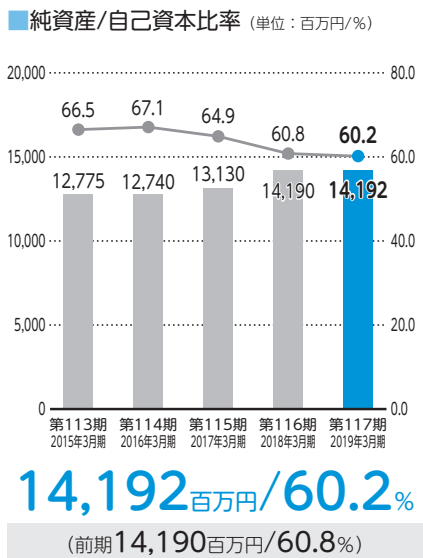
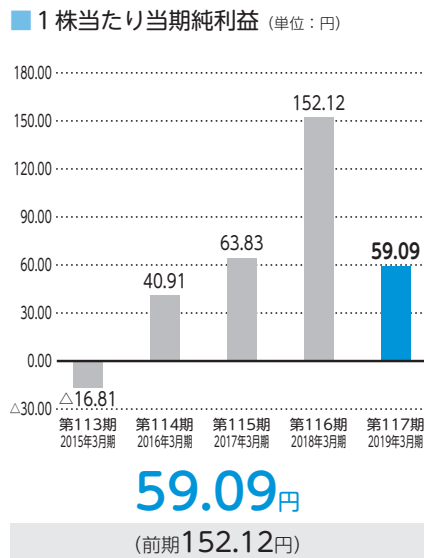
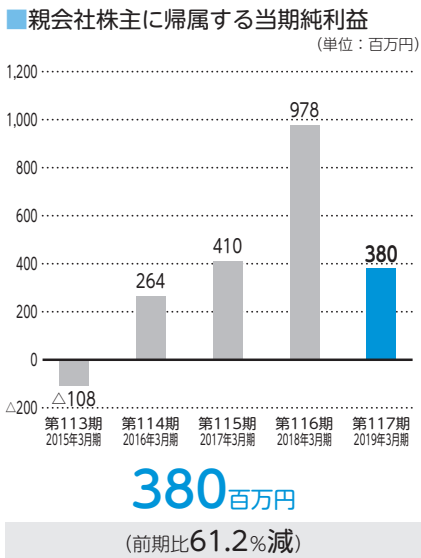
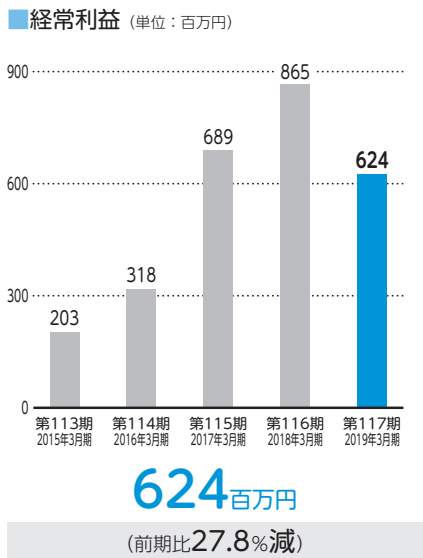
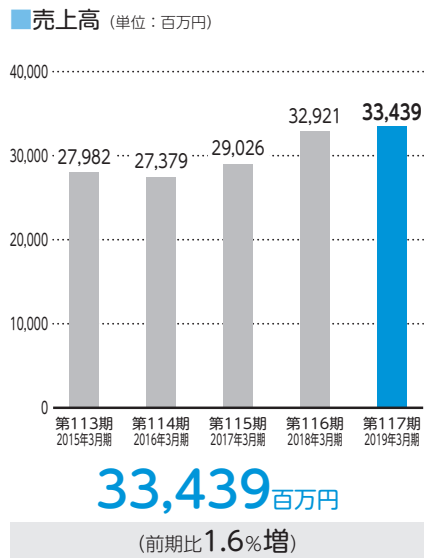
車両関係事業では、お客さまとの「つながり強化」をキーワードにお客さまの信頼回復に努めてまいります。業績につきましては、当連結会計年度並みの見込みであります。

以上によりまして、2020年3月期における当社グループの売上高は330億円、営業利益は3億5千万円、経常利益は4億4千万円、親会社株主に帰属する当期純利益は2億7千万円となる見通しであります。

株主の皆さまにおかれましては、今後とも一層のご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。

2019年6月

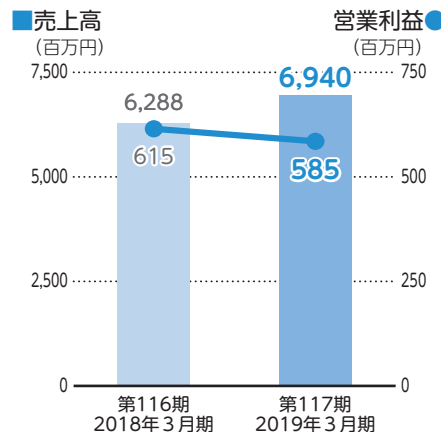
取締役社長 鈴木恵子



産業機械事業

売上高
6,940百万円
(前期比10.4%増)

営業利益
585百万円
(前期比4.9%減)



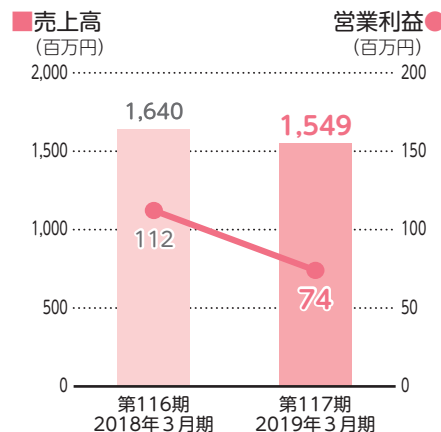
概況

包装機械は、主要な販売先である食品やトイレタリー業界をはじめとして、大型の液体充填ライン等は前期並みで推移し、液体充填巻締機等の小型・中型機は堅調に推移しました。さらに、前期に行った日本機械商事株式会社（本社：大阪府大阪市中央区）の連結子会社化も売上増加に寄与しました。

冷間鍛造事業

売上高
1,549百万円
(前期比5.5%減)

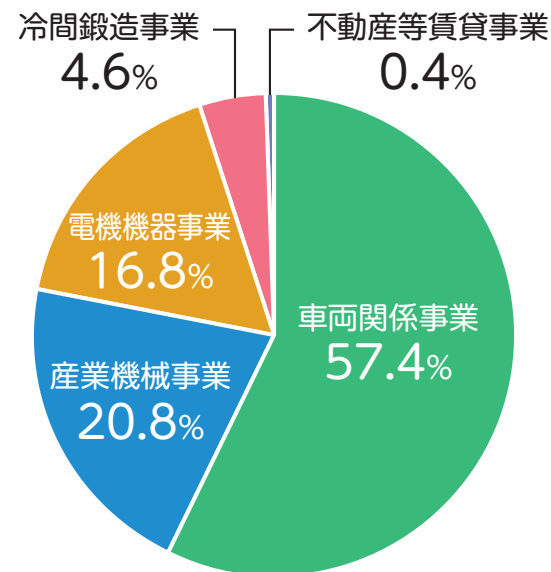
営業利益
74百万円
(前期比33.7%減)



概況

自動車部品は、納入先における主力製品の生産終了や中国市場低迷による中国向け製品の減産などにより、前年同期の実績を下回りました。一方、電動工具部品及び事務機・産業機械部品は、主要納入先の製品増産に伴う受注増により前年同期の実績を上回りましたが、自動車部品の落ち込みをカバーするには至りませんでした。

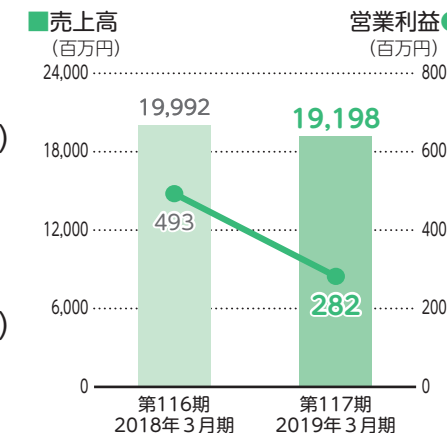
売上高合計
33,439百万円



車両関係事業

売上高
19,198百万円
(前期比4.0%減)

営業利益
282百万円
(前期比42.8%減)



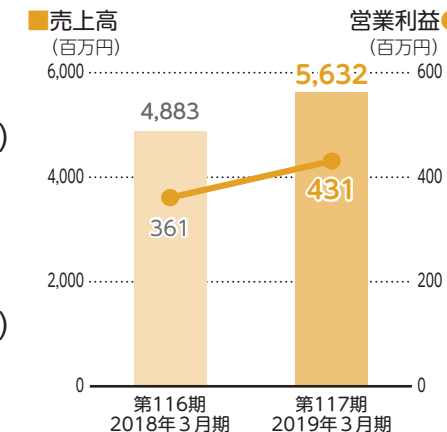
概況

新車販売は、株式会社SUBARUの新型車発売の端境期であったこと、また、完成検査に関わる不適切事案などの影響が大きく、前年同期の実績を下回りました。新車販売台数の減少に伴い下取車が減少し、中古車販売も前年同期の実績を下回りました。一方、サービス部門は定期点検の入庫台数確保に努めたことにより堅調に推移し、輸入車販売も堅調に推移しました。

電機機器事業

売上高
5,632百万円
(前期比15.3%増)

営業利益
431百万円
(前期比19.1%増)



概況

主力のFA関連機器は、自動車関連など静岡県内製造業の需要が堅調に推移し、前年同期の実績を上回りました。冷熱機器及び空調機器も工事案件が堅調に推移したほか、空調機器用部材が売上を伸ばしたため前年同期の実績を上回りました。設備機器も前年同期の実績を上回りました。

不動産等賃貸事業

売上高
117百万円 (前期比0.5%増)

営業利益
39百万円 (前期比135.9%増)

連結貸借対照表

	当 期 2019年3月31日現在	前 期 2018年3月31日現在
資産の部		
流動資産	12,104,456	11,323,198
現金及び預金	4,979,715	3,743,253
受取手形及び売掛金	4,092,405	4,336,106
たな卸資産	2,662,123	2,830,337
その他	388,714	437,336
貸倒引当金	△ 18,501	△ 23,834
固定資産	11,458,517	11,767,145
有形固定資産	8,484,221	8,551,097
建物及び構築物	3,596,712	3,767,078
土地	3,358,323	3,346,094
その他	1,529,186	1,437,925
無形固定資産	169,203	150,177
投資その他の資産	2,805,092	3,065,870
投資有価証券	2,353,419	2,645,011
その他	456,921	425,987
貸倒引当金	△ 5,250	△ 5,130
資産合計	23,562,973	23,090,344

(単位：千円)		
	当 期 2019年3月31日現在	前 期 2018年3月31日現在
負債の部		
流動負債	7,455,740	6,663,477
支払手形及び買掛金	3,418,166	3,450,188
その他	4,037,574	3,213,289
固定負債	1,914,718	2,236,213
負債合計	9,370,458	8,899,690
純資産の部		
株主資本	13,237,581	12,880,776
資本金	100,000	100,000
資本剰余金	3,151,285	3,071,637
利益剰余金	10,014,927	9,737,805
自己株式	△ 28,631	△ 28,667
その他の包括利益累計額	954,933	1,162,072
その他有価証券評価差額金	954,933	1,162,072
非支配株主持分	—	147,805
純資産合計	14,192,514	14,190,654
負債及び純資産合計	23,562,973	23,090,344

連結損益計算書

	当 期 2018年4月 1日～ 2019年3月31日	前 期 2017年4月 1日～ 2018年3月31日
売上高	33,439,348	32,921,933
売上原価	27,063,002	26,467,548
販売費及び一般管理費	5,812,004	5,672,484
営業利益	564,340	781,901
営業外収益	131,638	146,854
営業外費用	71,024	63,241
経常利益	624,954	865,513
特別利益	32,114	363,416
特別損失	66,520	25,894
税金等調整前当期純利益	590,548	1,203,036
法人税、住民税及び事業税	195,793	205,586
法人税等調整額	6,867	8,275
当期純利益	387,887	989,174
非支配株主に帰属する当期純利益	7,874	10,906
親会社株主に帰属する当期純利益	380,013	978,268

連結キャッシュ・フロー計算書

	当 期 2018年4月 1日～ 2019年3月31日	前 期 2017年4月 1日～ 2018年3月31日
営業活動による キャッシュ・フロー	2,758,736	1,340,696
投資活動による キャッシュ・フロー	△ 1,299,732	△ 1,820,385
財務活動による キャッシュ・フロー	△ 219,950	771,612
現金及び現金同等物の 増減額	1,239,053	291,923
現金及び現金同等物の 期首残高	3,549,893	3,257,969
現金及び現金同等物の 期末残高	4,788,947	3,549,893

◎ホームページのご案内◎

最新のIR情報につきましては、当社のホームページ「IR情報」をご参照ください。

<http://www.seiko-co.com/>



おかげさまで創業80周年

当社は2019年5月18日をもちまして、創業80周年を迎えました。これもひとえに株主の皆さまやお客さまをはじめとする、すべての関係者の皆さまからのご支援の賜物であると深く感謝いたしております。

また、創業80周年にあたり、シンボルマークを制作いたしました。8つのハートの花びらは当社で扱う8つの製品分野をイメージしています。

今後も、今まで培ってきた技術とノウハウをさらに進化発展させ、皆さまのお役に立ちますよう、努力を重ねてまいります。



ボルボXC40「2018-2019 日本カー・オブ・ザ・イヤー」を受賞

XC40が「2018-2019 日本カー・オブ・ザ・イヤー」を受賞しました。「2017-2018 日本カー・オブ・ザ・イヤー」を受賞したXC60に続き、2年連続でボルボ車の受賞となりました。また、輸入車が「日本カー・オブ・ザ・イヤー」を2年連続で受賞するのは同賞39年の歴史の中でも初めてです。

XC40のカジュアルかつスポーティなスタイリングと、上質な北欧デザインのインテリア、高度な安全装備、優れた走行性能などが高く評価されました。

XC40は連結子会社である静岡バイオート株式会社の取扱商品です。



会社概要

(2019年3月31日現在)

社名	静甲株式会社 (SEIKO CORPORATION)
本社所在地	静岡県静岡市清水区天神二丁目8番1号
設立	1939年(昭和14年)5月18日
資本金	1億円
従業員数	360名

役員

(2019年6月26日現在)

代表取締役 取締役社長	鈴木 恵子
代表取締役 専務取締役	鈴木 武夫
取締役	大石 透
取締役	鈴木 康之
取締役	鈴木 孝典
取締役	鈴木 浩之
取締役	伏見 民生
取締役	石田 進一
社外取締役	小林 和仁
常勤監査役	中村 元保
社外監査役	戸塚 伸久
社外監査役	大津 善敬

株式の状況

(2019年3月31日現在)

発行可能株式総数	19,200,000株
発行済株式総数	6,430,819株 (自己株式52,504株を除く)
株主数	774名

大株主(上位10名)

株主名	持株数 (株)	持株比率 (%)
鈴与ホールディングス株式会社	1,832,260	28.49
鈴木恵子	645,870	10.04
有限会社ティエムケイ	617,600	9.60
鈴木美代	340,500	5.29
株式会社静岡銀行	311,500	4.84
株式会社清水銀行	309,290	4.81
清水食品株式会社	204,000	3.17
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社	135,100	2.10
静甲従業員持株会	111,800	1.74
鈴与自動車運送株式会社	104,000	1.62

(注) 持株比率は自己株式(52,504株)を控除して計算しております。